

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準および評価方法

出版物・図録等・・・個別法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

基本財産・・・・・・・・定額法によっている。

特定資産・・・・・・・・定額法によっている。

その他の固定資産・・・定額法によっている。

リース資産・・・・・・該当無し。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・・・・支給見込額のうち、当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金・・・当期末における退職給付債務に基づき計上している。

(4) 消費税等の会計処理について

税込み処理によっている。